

今はばたく未来の力

平成18年成人式

人口減少時代を反映し、今年、全国では昨年より7万人少ない143万人が成人を迎えました。

伊賀市では、昨年より40人少ない1109人(男564人、女545人)が新たに大人の仲間入りを果たしました。

今年の成人式は、1月9日の成人の日に伊賀市文化会館で行われ、79・6%にあたる883人が出席し、久しぶりに会った同級生と記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりしていました。



写真1 司会の福森慎さん
写真3 TWENTY'S

写真2 新成人代表で抱負を話す極本兼人さん
写真4 STAND JAPS



まちかどTOPICS

中学時代の恩師によるメッセージビデオがスクリーンに映し出されると歓声や拍手が沸き起こりました。

新成人は「感謝の気持ちを忘れないで頑張ってください」「しっかりと自分自身の道を歩んでください」「君たちの若い力がこれからの社会を支えていきます。がんばってください。」「文化祭や運動会ががんばっていた姿が懐かしく思い出されます。君たちのこれからの人生が幸せでありますように願っています」「自分自身の行動や発言に責任を持ってください」「世界にはばたいてください」など、エールを送られると懐かしく感じている様子でした。

成人式の企画段階からたず

さわった新成人代表6人の紹介のあと、福森慎さんの司会で式典が始まりました。

今岡市長が「自分の命、人の命、世の中で一番大事な命を大切にし、立派な大人になってください」とお祝いの言葉を述べました。

新成人を代表して、極本兼人さんが「今まで育ててくれた家族や先生、励ましあった友人に感謝します。困難や不安もありますが、今日という日を節目として成人としての責任と自覚を持ち、前向きに歩んでいきたいと思えます」と抱負を述べました。

式典終了後、新成人のバンドグループ「TWENTY'S」「STAND JAPS」が演奏し会場を盛り上げました。

☆新成人にインタビュー!☆

「これからは責任ある行動をとります」「自分のやりたいことを見つけ、それに向かってがんばります」「人の役に立てる仕事がしたい」「看護師をめざして頑張ります」「夢を実現したい」「理容師をめざし頑張ります」「懐かしい友達に会えてうれしかった」「同級生が司会をしているのを見て、みんな頑張っているんだなと思った」「4月から社会人になるので責任ある行動をとりたい」「周りの人のことも考えながら、自分の意見を言えるようにしたい」「両親に心配をかけないようになりたい」

うたと語りと人形劇！

よろず劇場とんがらし公演

1月6日、ふるさと会館いが小ホールで、「よろず劇場とんがらし」よる人形劇が公演されました。

ちょっとお間抜けな2人組が繰り広げる友情物語「えん・えん・え〜ん」や、本格的な腹話術による「あかずきんちゃん」など、ユーモアたっぷりの人形劇を披露してくれました。

また、子どもたちは公演終了後に舞台裏を見せてもらったり、人形に触らせてもらったりするなど楽しい時間を過ごしました。



入浴者数200万人達成！

大山田温泉さるびの

1月21日、「大山田温泉さるびの」の入浴者数が200万人を達成しました。記念すべき200万人目の入浴者となったのは、亀山市から家族5人で来られた大津則幸さん。大津さんは、「今回で4回目ですが、まさか200万人目になるとは、びっくりです。」と話していました。

くす玉が割られた後、大津さんには、200万人達成証と記念品（伊賀牛すきやきセット、さるびの温泉化粧水セットなど）が贈られました。

同温泉は、平成11年4月にオープンし、関西や中部方面からのお客さんも多く、1日平均約1000人、年間約28万人が訪れています。



新年のスタートは健康から

おおやまだ元日マラソン



1月1日、伊賀の国大山田温泉さるびのを発着点とし、3.5キロと5キロのマラソンコースと2キロのウォーキングコースに分かれ、おおやまだ元日マラソンが盛大に行われました。

友達、家族連れなど約600人が、さわやかな汗を流して新年をスタートしました。

走り終えた参加者は、気持ちよさそうに「毎年楽しみにしています。さるびの温泉に入って来ます」と笑顔で話しました。

抽選会では、参加者に地元で生産された野菜のセットや温泉パスポート券などが贈られました。



子どもたち元気よく快走

第1回伊賀市スポーツ少年団ミニ駅伝大会



1月15日、上野運動公園で第1回伊賀市スポーツ少年団ミニ駅伝大会が行われました。

伊賀市・名張市のスポーツ少年団(36少年団)から75チームが参加し、曇り空の下、寒さを感じさせない元気な走りを見せてくれました。

小学生男子高学年の部は、競技場をスタートし野球場周辺を1周するコース、小学生男子低学年の部・小学生女子の部は、競技場をスタートし、競技場周辺を1周するコースで共に全7区間で競われました。

子どもたちを応援しようと沿道に駆けつける人達や観客席で歓声や拍手をくれた人達のおかげで全チーム無事にタスキをつなぐことができました。